

第5回ウェビナーQ&A

事前に寄せられた質問・ウェビナー当日に寄せられた質問で、ウェビナー中にお答えできなかったものを掲載しています。

Q. 日本の小学校のように住む地域内で受診しなくてはいけないのか？より丁寧にスキルの高い先生に診て頂く方法は？

A. 地域内で受診する必要はありませんが、加入なさっている健康保険のネットワーク内にいる医師でないと、非常に高額となります。良い医師を探す方法は、講演のスライド#18で示したように、以下の方法があります：

- ウェブサイトで健康機関か医師名を検索すると、評価も見られる
- 口コミは、結構有用
- JMTX やミシガン大学日本家庭健康プログラムのウェブサイト
- アメリカ便利帳（地域別にあります）

Q. 例えば手術等が必要となりそうなシリアスな病気（例えば癌など）の疑いがあり精密検査を受ける場合、アメリカで受けるのがよいか、日本に一時帰国して受けた方がよいか、Pros/Cons あるかと思いますがご教示頂けますと幸いです。

A. 日本が米国より優れている手術や検査は、以下が考えられます：

- 胃がんが疑われる場合の検査や手術（日本の胃がんにおける治療成績は、韓国に次いで高いです）
- 腎不全で腎臓が機能なくなり、人工透析が必要な場合（日本の人工透析の成績は、世界一です）
- 緊急ではありませんが、美容整形を考えている場合（日本人の美容整形外科医の方が日本人に適切な美容を考えてくれると思います）
- 中絶が必要な時（中絶が合法的な州では、米国で構いませんが、テキサスなど中絶が非合法になってしまった州にお住いの場合、他州に行くより日本で行った方が良いでしょう）

他の手技や手術は、むしろ米国の、該当する症例を多数扱っているセンターの方が良いと思います。

Q. 在米 20 年の日本人知人から聞いたのですが、アメリカでは、保険会社の許可書がないと手術を受けられないと聞きましたが、事実なのでしょうか。緊急の手術の場合でもそういう場面はあるのでしょうか。

A. 緊急手術が必要な場合、保険の有無にかかわらず行われます。ただし、健康保険がそれを全てカバーするかどうかは、別問題です。（通常、命に係る病気の治療の場合は、カバーされるはずですが。）美容整形とみなされる手術は、通常カバーされません。

Q. 救急車が有料のこともあるという噂を聞いて、熱中症になっても怖くて呼べませんでした。本当でしょうか？

A. 救急者が無料であることは、まずありません。(講演のスライド#9を参照。)ただし、一刻も時を争うと思われる症状であれば、呼んだ方が良いでしょう。治療が遅れて、更に重症になってしまえば、よりコストもかかり、命にも関わる訳ですから、元も子もありません。

Q. 病院で小さい手術を行うことになり、その費用がどれくらいかかるのか、自分の保険会社は病院へ尋ねるように言われ、病院は麻酔会社にたずねるように言われました。ややこしいのに麻酔会社は保険のネットワークに入っていない。それはどこにコンタクトをとればよいのでしょうか。

A. 医療費は、病院の施設費と医師の治療費と別れます。手術の場合、実際に執刀する医師と麻酔を施す医師から別々に治療費を請求されます。手間がかかりますが、病院、執刀医(か、そのクリニック)、麻酔医(か、そのクリニック・会社)に個別に確認する必要がありますでしょう。

Q. 本日の趣旨とずれていたら申し訳ありません。現在6ヶ月の子供にBCGワクチンを接種させるか迷っています。何かアドバイスがあればお願いいたします。

A. 米国では、結核の感染率が低いため、BCG接種は、行われていません。日本では、生後一年(できれば半年)以内に接種する事が出来ます。現在は、日本でも義務化はされていません。厚生労働省のウェブサイトには有用な情報が載っています。

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/bcg/index.html#Q08

Q. アメリカの市販薬のMucinex Expectorantを慢性副鼻腔炎のために服用する場合、日本人の成人に合う適切な1回の量を知りたい。

A. Mucinex Expectorantは主に肺の痰の詰まりを和らげるもので、鼻の詰まりを和らげるにはあまり効き目がないと思います。高血圧持ちでなければMucinex-DならばDecongestant(鼻の奥の詰まりを和らげるもの)が入っています。Guafenesin-Pseudoephedrine 600mg-60mgが入っていてパッケージに従って服用してください。

Q. 2型糖尿病処方薬の種類とその効用

A. 糖尿病の薬の種類について、たくさんあります。日本とほぼ同じ種類が処方されています。インシュリンから錠剤、週一回の注射のものまで。効果のほうは、個人別なので、お医者様が患者さんの状態を見て、容量を変えたり、他の種類に変えたりとするので、かかりつけのお医者様とお話してください。

Q. 酔い止めやアレルギーの薬で眠くなりにくいタイプの薬をアメリカで購入して服用すると眠くなって運転がままなりません。こういった場合はどうしたらいいのでしょうか？

A. アメリカでの一般的によく販売されてる車酔い止めの薬は眠気が差すものばかりです。例えば Bonnie, Dramamine. 成分を見ていただくと Meclizine , Dimenhydrinate などですが、どちらも眠くなる事は避けられなさそうです。他に生姜を成分にしたものや、リストバンドなどを試してみるのもどうでしょうか？

アレルギーの方では、ロラチデン(Loratidine) いわゆるクラリチン(Claritin) は眠気がさほど起こらないということが売りですが、それでも眠くなってしまうという場合は、アレルギー用の鼻のスプレーやアレルギーの目薬も選択肢だと思います。

Q. ヒルドイド(ヘパリン)はアメリカで手に入りますか？セタフィルで代用するしかないのでしょうか？

A. ヒルドイドの主成分、ヘパリン類似物質はアメリカでは売られていません。セタフィルやセラヴィが保湿性のクリームとしては頻繁にアメリカで使われます。

Q. CBD オイルやクリームを最近よく OTC で目にするのですが、副作用は気にならない程度でしょうか？

A. 副作用として、吐き気、口渇、強い眠気、めまいなどです。さほど起こらないとされていますが、商品によって有効成分の量が異なったり、有効成分外によって副作用も変わってくるので注意してパッケージに従ってください。